

報 告 書

総務教育常任委員会は、令和4年10月27日（木）に、県内視察調査を実施しましたので、その概要を別紙のとおり報告します。

令和4年11月22日

福井県議会議長
大森 哲男 様

総務教育常任委員会
委員長 山浦 光一郎

総務教育常任委員会 県内視察 調査概要

- 1 視察年月日 令和4年10月27日(木) (日程詳細は、別紙のとおり)
- 2 出席者 別紙「総務教育常任委員会 県内視察調査出席者名簿」のとおり

3 視察先及びその概要

(1) TSURUGA PORT SQUARE「otta」(敦賀市)

敦賀市の小川都市整備部長、県地域戦略部の藤丸新幹線・まちづくり対策監のあいさつの後、資料に基づき概要説明を受け、質疑応答を行った。

その後、「otta」内の現場視察を行った。

○「新幹線開業に向けた敦賀駅周辺のまちづくりについて」

説明者：敦賀市都市整備部長 小川 明 様

(2) 学校法人青池学園 AOIKE 高等学校 (小浜市)

青池理事長のあいさつの後、資料に基づき概要説明を受け、質疑応答を行った。その後、VR機器を使用したバーチャル教室の体験、校内の視察を行った。

○「メタバース(AVOS)を活用した通信制教育について」

説明者：学校法人青池学園 理事長 青池 浩生 様

AOIKE 高等学校 校長 滝 民江 様

IT管理室 室長 辻 康司 様

4 質疑概要

別紙のとおり

総務教育常任委員会 県内視察調査日程表

実施日 令和4年10月27日(木)

時 間	行 程
9 : 0 0	議事堂 発 (バス) (移動時間 7 0 分) 鯖江 IC 経由
1 0 : 1 0 (9 0 分)	敦賀駅 着 TSURUGA PORT SQUARE「otta (オッタ)」 (所在地) 敦賀市鉄輪町1丁目 (電 話) 0770-22-6080 ○概要説明 「北陸新幹線開業に向けた敦賀駅周辺のまちづくり について」 ○質疑応答 ○施設視察
1 1 : 4 0	視察終了
1 1 : 5 0	昼食
1 2 : 4 0	同地 発 (移動時間 5 0 分)
1 3 : 3 0 (9 0 分)	学校法人青池学園 AOIKE 高等学校 着 (所在地) 小浜市小浜広峰 108 (電 話) 0770 - 52 - 3481 ○概要説明 「メタバース(AVOS)を活用した通信制教育に ついて」 ○質疑応答 ○施設視察
1 5 : 0 0	同地 発 (移動時間 1 0 0 分)
1 6 : 4 0	鯖江 IC 経由 議事堂 着 (解散)

**総務教育常任委員会
県内視察調査出席者名簿**

【委員】	(氏名)	(期別)	
委員長	山浦 光一郎	1期	
副委員長	清水 智信	2期	
委員	田中 敏幸	6期	
〃	田中 宏典	4期	
〃	鈴木 宏治	4期	
〃	小寺 惣吉	3期	
〃	野田 哲生	1期	
〃	笹原 修之	1期	
		(委員計	8名)

【地係議員】

敦賀駅周辺関係

敦賀市選挙区	力野 豊	2期
〃	北川 博規	1期

学校法人青池学園関係

小浜市三方郡三方上中郡選挙区

	西本 正俊	4期
〃	小堀 友廣	2期
〃	松崎 雄城	1期

【議会局】

議事調査課	主任	土田 晃子
〃	主任	山本 紘一郎

質 疑 概 要

1. 敦賀市 (TSURUGA PORT SQUARE「otta」)

(1) 説明要旨

○敦賀駅周辺の整備について

- ・ 駅西地区土地区画整理事業は平成 19 年から令和 2 年にかけて、国費含めて総額 36 億円程度の予算を投入している。
- ・ 平成 21 年に駅前に学生交流の場を設けるべく福大附属国際原子力工学研究所を誘致、オルパークは土地は JR のもの、国費含めて 10.6 億円の予算をかけて市が整備した。駅前広場は約 11 億円。
- ・ 駅西地区土地活用事業については、平成 27 年の新幹線開業 3 年前倒しと、中池見のルート確定を契機に議論が始まった。
- ・ 駅前立体駐車場は需要予測を基に 320 台収容とした。プロポーザルの結果、タイムズグループが落札、民間のノウハウを活かしながら整備した。オッタオープン後の週末は満車となるため、駅東の駐車場整備が急がれる。

○官民連携事業について

- ・ 駅前のコンセプトは、金ヶ崎、気比神宮等々に誘導する玄関口と、市民にとっては普段使いの拠点という両面からエリア開発していこうというもの。市民のワークショップや審議会等の意見の中から位置づけられた。
- ・ 市が区画整理で生み出した土地に事業用定期借地権を設定し、民間施設が上物を整備・所有する手法。プロポーザルの結果、5 グループの中から青山財産ネットワークスが代表企業を務めるホテルとの JV グループが優先交渉権者となり、開発を進めてきた。評価された点は、実績を生かした体制構築と借り入れのみに頼らない資金調達計画。このプロジェクトを不動産証券化という手法でもって資金調達し、26 億 4000 万円の民間投資のうちかなりの額を投資家から集めた。福井県ゆかりの投資家からの協力がかなり多かったとのこと。
- ・ 官民の役割分担として、ホテルや物販飲食はビジネスとして民間に依頼し、市民が使う知育啓発、子育て機能については「官」が持とうという話になった。
- ・ 「稼ぐ公民連携」をキーワードに、エリアで生まれるお金（駐車場・年間 4000 万円）、ホテル定期借地契約（50 年）による収入を維持管理費に回すスキーム

○知育・啓発施設について

- ・ 市民から意見を募り、「子ども、若者、駅を行き交うビジネスマンが気軽に訪れ、書籍やメディア、ワークショップ等を通じて新たな学びや価値を創造する場所」をコンセプトとした。
- ・ 書籍については民業圧迫にならないように、市民に届けたい本であるがビジネスに乗らないところ、赤字になるのは分かっているけれど本屋としては置きたい本を中心とし、ベストセラーは置かないという形とした。
- ・ 指定管理料は年間 4000 万円。固定資産税の増収分（約 1500 万円）を指定管理料

に充当することとし、約 2500 万円を税金投入（市負担）ということで議会で承認を得た。5 グループがプロポーザルに参加し、激戦の結果、丸善雄松堂&編集工
学研究所が落札

- ・敦賀の本屋が減っている中、売行きを心配していたが、オープンから 50 日で 5500 冊を売上げ、買った人数は約 3200 人。来場者は 6 万 4000 人ということで、予想以上に好評を得ている。

○ホテルについて

- ・ビジネスホテルは既にそろっているので、それより上の層をターゲットとするため、プロポーザルにおいては広めの部屋、ワンランク上のサービス等を加点した。
- ・グランビナリオは、8 階、9 階に 40 平米以上のジュニアスイートがある。今は高稼働率で予約が取りにくく、8 階、9 階から予約が埋まっていく状況。

○駅西広場公園について

- ・土地区画整理で生み出した土地のため、区画整理法上必要な 3 % の公園については国庫補助も得て市で整備。
- ・エリア全体の回遊性を持たせるために設置したひさしについては、公園でも民間施設でもない部分ということで国 3 分の 1、市 3 分の 1、民間 3 分の 1 で設置
- ・公園の芝は、年中緑が見られるようにということで、人工芝とのハイブリッドにしている。
- ・スターボックス前については、スターボックスのしつらえに合うように連携しながら設計した。

(2) 質疑概要

○委員 平成 19 年から長い期間をかけて土地区画整理を行っているが、きっかけは新幹線開業に向けて行ったのか、ほかに問題等があったのか。

○敦賀市 まずは国鉄清算事業団の土地を購入しなければならないというのがあったし、まだ時期は決まっていなかったが、いずれ北陸新幹線が敦賀に来るという意識はあったと思う。

○委員 私は時々この立体駐車場を利用しているが、満車に近い状態のことも多い。高速や国道 8 号からだとも西側は大回りになるが、駅周辺整備の時に東側の開発というのは話になかったのか。

○敦賀市 駅東には 124 台の駐車場を整備する予定であり、来年度の予算で駅前立体駐車場、白銀駐車場の空き状況が分かる表示板やインターネットでの情報表示について検討中である。また、道路についてはバイパスから駅に向かう敦賀駅東線を県で整備しているところである。

駅東にもカフェなどの要望もあるが、西側との競合を避けるため、東側は広域観光の出発点としてバス駐車場など交通機能を充実させたいと考えている。

○委員 ホテルグランビナリオはワンランク上ということであるが、シングルと最上位の部屋の一泊の価格はどれくらいか。また、検討中の金ヶ崎のオーベルジュはどういう層をターゲットとしているのか。

○敦賀市 グランビナリオはシングルで1万2100円、最上位の9階40平米の部屋は5万100円である。ほかに和室やコネクティングルームもある。なお、周辺のビジネスホテルは6800円～1万円ぐらいであるから、これまでは金沢や京都に流れていた上位のお客さんにも泊っていただけたと考えている。

金ヶ崎については今、県と民間の方を交えて協議会にて検討しているところであるが、オーベルジュはさらに上の1泊10万円かそれ以上の富裕層をターゲットとして考えている。

○委員 敦賀は交通の結節点としていろいろな人が来ることになる。敦賀の海を生かした観光についてはどういうものを考えているか。

○敦賀市 金ヶ崎エリアの開発については、県の協力のもと、今年の3月に前田建設工業と開発協定を結んだところである。敦賀湾に沈む夕日を見れるロケーションも生かし、港と鉄道のまちというコンセプトで開発を進めてほしいと考えている。

○新幹線・まちづくり対策監 金ヶ崎緑地は県有地であることから、富裕層だけでなく一般の市民、県民にも利用してもらえる複合施設にしていきたいということで、民間中心に事業計画を進めている。港と鉄道のまちという敦賀のコンセプトを最大限生かす施設を目指したい。

○委員 高速道路と駅前をつなぐアクセス道路をもっと短くすることはできないのか。

○敦賀市 まっすぐ行こうと思うと工場があるので、可能な限りの最短ルートでインター料金所から1.6キロ、バイパスから730メートルである。

○委員 芝生広場をイベント等で利用する場合の利用料はどうなっているか。

○敦賀市 利用料は1平米1時間5円である。キッチンカーが5時間使用して700円～800円となる。芝生横に民間利用を考慮した平板ブロックもあり、テントの利用も可能である。テントフック、電気・水道は別途料金となっている。

○委員 非常に安く、防災の面からもよく考えられていると思う。

○敦賀市 万が一、新幹線や特急等でテロが起きたとき、1000人近い人間の避難場所として必要であるということで、リスク管理の観点から駅東にも駅前広場をと考えた。水道・電気はイベントを意識して設置しているが、駅前にこういう

空間があるのは防災面でも有効だと考えている。

○委員 ホテルの泊食分離の考え方は。

○敦賀市 ホテルの社長が、駅前で生み出したにぎわいをホテルだけでなく町に広げていかないと地方創生に繋がらないということで泊食分離としている。ホテル内の朝食レストランは地元のお店が入っているし、夕食については周りのレストラン等を使っていただく。また、社長はホテルを売るのでなく敦賀を売るということで独自の観光パンフレットも作成しており、ANA や JAL、アジア向けに売り出してくれている。

駅前商店街の方から、グランビナリオに泊まっているお客さんが最近来てくれているという話を聞いており、波及効果の広がりを期待している。

○委員 芦原温泉駅周辺は、駅前には立派な公共施設ができて、町の商店街は連休でも元気がないと感じている。敦賀では商店街等との連携について計画はあるか。

○敦賀市 具体的な計画はないが、駅前のイベントを商店街と一緒にやろうというような話は進んでいる。また、今は駅前商店街は駅周辺の協議会に入っていないが、今後検討していこうと考えている。ほかに、アルプラザに無印良品が入ったが、良品計画と丸善雄松堂の連携事例があるので、ちえなみきとの連携についてもお願いしたところである。

様々な自治体を視察したが、駅前開発と地元の融合というのはどこの自治体も苦労している。

○委員 新幹線だけでなく、高速のサービスエリアのような、車を誘導する場所づくりについてはどう考えているか。

○敦賀市 県内自治体で道の駅がないのは敦賀だけなのであるが、今は日本海さかな街が集客力もあり道の駅的な機能もある。行政が大量の資金を投入して道の駅を造ると民業圧迫になるという懸念もあるので、ロードサイドの休息施設開発と既存の民間施設の役割等を考えながら、最大限効果が発揮できるような公共投資をしていかなければならない。

○委員 駅前のシェアサイクルは、金ヶ崎までも行けるのか。

○敦賀市 今、市内にシェアサイクルのポートは 11 か所あり、60 台が稼働している。オッタの開業後、稼働率は上昇しており、年度内にもう 1 ポート増やし、台数も増やす計画である。どこでもスマートフォンで予約できるので、もっと使ってほしいと考えている。

○嶺南振興局長 敦賀はドコモのシェアサイクルを導入していて、長距離もい

けるし、ママチャリタイプもあるのでどなたでも使えると思う。若狭湾サイクリングルートも敦賀の中はそのシェアサイクルでの周遊というのも十分考えられる。

○委員　ほかの市町との行き来はできないのか。

○新幹線・まちづくり対策監　敦賀市内だけであるが、ドコモのシェアサイクルで会員登録して市内 11 ポートで乗り降りできる。福井市もドコモのシェアサイクルである。まだ県内あちこち行けるとはなっていないが、アプリで全国のドコモシェアサイクルの空き状況が分かり、予約ができるという利便性はある。

(3) 現場視察

- ・ちえなみきを中心に otta 内を視察
- (※) 現場視察をしながら行った質疑応答については省略する。

2. 学校法人青池学園 AOIKE高等学校

(1) 説明要旨

○学校法人青池学園の概要

- ・青池学園の前身は1970年に開校した先代の料理教室で、2000年に学校法人化。現在、専門学校は県内と富山県に2校ずつある。美浜の医療福祉専門学校では、介護福祉士と理学療法士の養成、併せて日本語科では留学生が日本語を学んでいる。日本語科は現在100名弱、来年4月に30名が来日予定。
- ・通信制高校は2020年に開校、敦賀駅前と富山の専門学校内にもキャンパスがある。来年4月には東京・原宿にサポート校を開校予定。
- ・海外はフィリピンに2校。ボホール州の学校は州立大学の中に寄付講座ということで日本語クラスを設置しており、そこで学んだ生徒が専門学校の日本語科に来ている。タガイタイの学校は日本の学生が英語を学ぶ場所ということで設置。一日中マンツーマンで非常に効果的な学習が可能。

○AOIKE高等学校の概要

- ・生徒が自己肯定感を持ち、夢に向かって努力し、そして将来自立できることを目標に取り組んでいる。
- ・学びのコースは以下の4つ
 - A ベーシック…時間や場所にとらわれずに自分の都合に合わせて動画学習を進める。全員が必修。
 - B オンライン…バーチャルを含めオンラインで授業に参加する
 - C オンライン国際…フィリピン校の外国人講師によるオンライン英会話授業が受けられる。短期・長期の留学も可能
 - D 通学…本校、敦賀キャンパス、富山キャンパスに通学して対面で授業を受ける。通学は週1日、3日、5日が選択可能
- ・現在、全校生徒101名。うち、通学コースは50名。県内でも嶺北から、また県外からも徐々に増えている。
- ・学校設定科目として調理基礎・スイーツ、eスポーツがある。
- ・卒業後の進路は25%が大学進学、33%が専門学校進学、42%が就職
- ・メタバースを実際に学校の教育現場で使用しているのは全国でもおそらく当学園のみ。

○AVOS (AOIKEバーチャルオンラインスクール) の開発経緯について

- ・通信制高校設立時は生徒の募集エリアは近隣県のみであったが、今年の4月に募集エリアを全国に拡大した。全国どこにいても学べるようにしないとイケないということで、それに対応するシステムが必要だった。
- ・ほかの大手通信制高校が取り入れている既存のシステム等も検討したが、カリキュラムや教育の理念が合わず、それなら自分たちで作ろうとなった。
- ・グローバルな教育と、多様性が求められる中で一人一人の個性にあった教育を展開していきたいというのが第一で、一般的な通学制の学校になじめない、健

康上の問題から通えないなど、もっと自由な環境で学びたい子どもたちに合った教育をしたいと思い、このシステムを考えた。

- ・不登校の子どもたちと接していると失敗をすごく恐れており、一つの価値観に押さえつけられている気がしていた。だったら間違いや失敗を恐れない、自分の思いを表現することのできる場所をつくりたいということでVR、アバターを使おうとなった。
- ・もともと学園にいた非常に優秀なエンジニアが中心となって、学園グループ内の「AOIKEエンタープライズ株式会社」という別会社がシステムの開発を進めている。
- ・一番の強みは教育現場を持っていること。現場の教員と相談しながらシステムをつくってきたし、今後も柔軟にシステムを更新していける。時代に合わせて進化させていきたいと考えている。
- ・AVOSを世界中で使ってもらいたいと考えている。様々な問題で教育の機会を奪われている女性や子どもたちにとって、公平で質の高い教育を受けるチャンスとなると思う。また、たくさんの人に使ってもらうことで多くのデータが得られ、それを次の教育機関、社会人の学びにもつなげていけるシステムだと思っている。

○AVOSの概要

- ・スケジュール・レポート管理などの学習支援、成績・出席管理の公務支援、バーチャル教室機能がワンパッケージになっているのが最大の魅力
- ・学習支援機能では生徒のレポート提出状況が科目・生徒ごとにタブレット上で一目で確認できる。保護者も利用可。教員間のフォローもしやすい。
- ・バーチャル学校の利用事例
 - (1)バーチャル卒業式 会場に入れなかった保護者等がアバターで参加
 - (2)数学の空間図形の授業 3Dオブジェクトを使用
 - (3)理学療法科の解剖学の授業 内臓など3Dでの学習が可能
 - (4)介護福祉科の認知症体験 記憶障害の体験
 - (5)日本語科の茶道体験 和室がなくても雰囲気味わえる
 - (6)外国人による英会話授業 アバターのほうが話しやすいという生徒も多いその他、11月にはバーチャル文化祭を開催予定

(2) 質疑概要

○委員 1日に授業は何時間あるのか。

○校長 授業は月・水・金の午前中が基本であるが、5日間通う生徒もいる。授業というよりはプリント学習が中心で、3年生だと進路指導なども行う。

○委員 全日制の学校になじめないという生徒もいると思うが、就職は順調にいくのか。就職に関しどのような取組をしているのか。

○校長 ハローワークと連携して就職指導をしている。通信制の場合は全日制

と比べて空いている時間が多いので、空いた時間を利用して自分の夢に向かって取り組む生徒が多い。就職を希望する生徒は平日でもアルバイトができるので、そこでコミュニケーション能力や様々な技術を身につけて就職につながっている。

○委員 不登校の1、2年生の生徒が転入してくるケースはあるか。その場合、登校せずオンラインのみで単位を取って卒業というのが可能なのか。

○校長 今年の4月以降でも、15名が転入している。文科省のガイドラインでは4か月の在籍期間が必要となっており、12月1日付けで入学し、必死に勉強すればその学年の単位は取れる。なお、学習指導要領で登校してスクーリング（対面授業）を受ける時間数というのが科目ごとに決まっているので、全く登校しないということはできない。

○委員 嶺北だと何とか通えるだろうが、県外からはやはり難しいのか。アパートを借りたりするのか。

○校長 スクーリングは年間10日ほどであるので、遠方の生徒は小浜のビジネスホテルに宿泊するなどしている。

○理事長 通信制とはいえ高校であるので、学習指導要領に則った対面授業の時間が必要である。ベーシックコースはそれを最小限にしている。年間10日ほどなので、フィリピンに留学していても必要なタイミングに帰ってきてスクーリングを受け、卒業の単位取得というのも可能である。

○委員 スクーリングをバーチャルで、というのはいできないのか。

○理事長 できない。

○委員 全国から来てもらうなら、スクーリングのサポート体制が必要ではないか。

○理事長 それがまさに今後の展開であり、来年4月に原宿に開校するサポート校はその一環である。既存の塾や専門学校がサポート校の機能を持つことが可能なので、原宿を拠点として我々の先進的な取組を発信し、全国にサポート校を増やしていきたい。

○委員 国や県の就学支援金の対象となるのか。

○校長 県内のほかの高校と同じで、所得要件を満たす世帯は支援が受けられる。

○委員 バーチャル授業と通常のオンライン授業はどういう基準で使い分けて

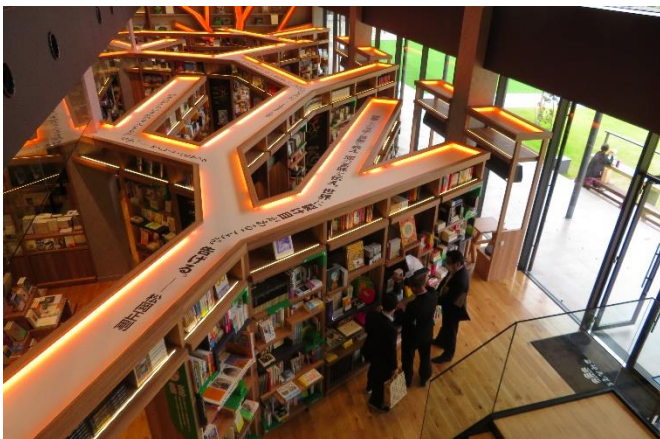
いるのか。

○校長　今、模索している状況ではあるが、例えば国語の羅生門の世界をバーチャル空間に設定し、そこに入り臨場感を得ることで心情の読み取りにつながるのではないかなど、日々試行錯誤しながら進めているところである。アバターの利用は、各授業において「主体的・対話的で深い学び」につながる可能性が大きいと考えている。

(3) 授業体験、校内視察

- ・VR 機器を使用してバーチャル学校を体験し、校内を視察
(※) 体験・視察をしながら行った質疑応答については省略する。

総務教育常任委員会県内視察 (TSURUGA PORT SQUARE 「otta」)



総務教育常任委員会県内視察 (AOIKE 高等学校)

